

令和6年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第5講座を開催して】

10月18日(金)、秋吉公民館大会議室において、令和6年度美祢市人権教育ふれあい講座(第5講座)を開催しました。

『男女共同参画に関する問題』をテーマとして、山陽小野田市立山口東京理科大学 教授 堤 千佳子(つつみ ちかこ)氏から、「人権とダイバーシティについて」と題して、御講演いただきました。

聞きなれない方も多い「ダイバーシティ」について、ディズニー映画や金子みすゞさんの詩など、誰もが一度は見聞きしたことのある内容に沿って御説明していただけたことで、大変わかりやすく、また、楽しみながら学ぶことができました。



【受講者の主な感想】

- ディズニー映画という身近なことを題材にした説明でよく分かりました。
- ダイバーシティについて、初めて本格的に学びました。「意識改革」というのがまさしくキーワードで、自分も職場の管理職として、職員の意識改革を行なっていきたいと思いました。ちゃんと理解すれば、本当にすごしやすい世界を作ることができると思います。
- ディズニー映画の入り方がとても良かったです。ディズニー映画をそういう見方をしたことがなかったので、とてもわかりやすい例えを教えてもらった気がします。本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- 男女の立場的な社会問題について知ることができました。
- 人権とダイバーシティについて、事例も交え分かりやすくお話しいただきました。ひとり一人の意識や価値観の持ち方を多様化することが大切だと感じました。
- ダイバーシティについて理解できた。誰もが働きやすい職場、生きやすい社会になると良いと思った。
- ジェンダーギャップ指数が146カ国中118位と低く、ストライキをするという方法以外に、早急に解決する方法が知りたいと思いました。
- 先生の説明がとてもわかりやすく、ダイバーシティについて理解できました。「みんなちがっ

てみんないい」ですね。現状についてはよくわかったので、今後どうすればもっとよくなるのかをもう少し具体的に詳しく知りたいなと思いました。

- 男女共同参画についての講演はこれまでに何度か聴いたことがありますが、ダイバーシティからの視点からのお話で、興味深かったです。ディズニーの童話はこんな見方があるのかと思いました。日本の昔話も残酷な人権に反する内容が多いと思います。
- ダイバーシティについて、わかりやすく説明していただけてよかった。オンラインで受講したが、聞こえやすく、問題なく受講できてよかった。
- 人権とダイバーシティの推進というテーマでは、いかに多様性を認め合える社会にしていくかを考えることが重要であると思う。そのためには、価値観を変えていかなければならないということ意識する必要がある。講義でもあったように、アンコンシャス・バイアスが大きな弊害となるが、これは生活の中で学んだことから生じるバイアスであるため、日々の生活の中で目にするものや耳にすることを変えていかなければならない。そこには年代による差が生じる。「～世代」という言い方で分けられることがあるが、触れてきた価値観が違うため、その差が生じている。だからこそ、どの世代も学び続けなければならない。「老害」「ステレオタイプ」「若気の至り」「青二才」という言葉自体もアンコンシャス・バイアスの一つかもしれないが、ともに学び続けられるように、社会全体で意識を変える必要がある。今回の講座でも、一方的に専門家から専門用語を詳しく説明されることを聞くだけでなく、新たな学びを共有することでこそダイバーシティの概念に合うのではないかと思う。ディズニーの話は興味深かった。ニュープリンセスの時代から見ている子供たちは自然と多様性を受け入れられているだろう。今回のテーマでは、実際に子供たちと「ズートピア」の一部を視聴して人権とは、ダイバーシティとはという観点で感想を共有した方が、心に残る学びとなったのではないだろうか。
- 世の中に存在する沢山の差別、まずは私達一人一人の意識を変えていくことから始めていかななくてはと思います。勉強になりました。
- ダイバーシティについて身近なものを例に出して説明されていたので興味を持って聞くことができました。